

1. 科目名（単位数）	心理学実験／心理学基礎実験（4単位）	3. 科目番号	PSMP2121
2. 授業担当教員	柴原直樹・新井 雅人		PSMP2142
4. 授業形態	講義・実習(グループ活動)・演習(グループ活動)・ディスカッション	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	「統計学」および「心理統計法」の単位を履修した後に履修することが望ましい。		
7. 講義概要	心理学を研究するための基礎となる各手法をとり上げ、生理、記憶、学習、認知、人格、社会等、心理学の主要な分野の知識を身につけながら、それらの知識や考え方に基づく科学的レポートの書き方を学ぶ。実験等の体験を通して、心理学の理論を机上に終わらせることなく、身近なものとして体得することができる。 なお本科目は認定心理士の資格科目であり、受講生は規定数以上の実験等に参加し、レポートを提出することが義務付けられている。		
8. 学習目標	1. 実験等の演習を通して、心理学を含む社会科学全般に必要な不可欠である各種研究法の基礎理論や技法、基本姿勢を理解し、身につける。 2. 実験等の演習によって、実験や調査の計画立案の仕方を理解する。 3. 実験等の演習によって得られたデータについて、コンピュータを用いて統計処理することができるようになる。 4. 目的、方法、結果、考察から成る心理学研究レポートの記述の仕方を習得し、心理学的事象について、統計処理の結果を用いて、説明、解釈できるようになる。		
9. アサシメント（宿題）及びレポート課題	1. 授業時間外に、実験テーマに関する資料を探す、データの収集や分析などの活動が必要となる。 2. 全ての実験種目のそれぞれの終了時にレポート作成が求められる。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 村上香奈・山崎浩一 『よくわかる心理学実験実習 第2版』 ミネルヴァ書房 Microsoft Word、Excel を標準利用します。利用できるように準備をしておいてください。 【参考書・資料】 授業中に必要に応じて提示する。		
11. 成績評価の基準と評定の方法	○成績評価の基準 1. 実験等の演習を通して、各種研究法の基礎理論や技法、基本姿勢を理解し身につけていること 2. 実験等の演習によって、実験や調査の計画立案の仕方を理解していること 3. 実験等の演習によって得られたデータについて、コンピュータを用いて統計処理できること 4. 目的、方法、結果、考察から成る標準的な心理学研究レポートの記述の仕方を習得していること ○成績評価の評定方法 学則で決められた単位取得の条件を満たしていること(3/4以上の出席)を前提として、授業態度(授業およびグループ発表への積極的参加)30%、課題レポート70%として算出した合計得点により成績評価を行う。		
12. 受講生へのメッセージ	心理学は観察・実験などの手法によってデータを集め分析することで、心に対して科学的なアプローチを行う実証科学です。その実際を実習を通して体験することが本授業の目的です。また、この授業は実験レポートの作成を通じて、受講者自らが主体的に考えること、さらに考えたことを適切に記述し、伝えることの訓練も目的としています。本授業では、以下の点に留意し、緊張感を持って臨むようにしてください。 1. 授業には積極的態​​度で参加することが求められる。居眠り、授業を妨げる私語、教員の説明を聞かない態度は厳禁である。Zoom によるオンライン授業においては、カメラ・マイクはいつでも利用できるように準備をしておくこと。ブレイクアウトルームを用いたグループ作業への参加は必須である。事情の説明なく速やかにブレイクアウトルームへ移動しない受講生については、欠席扱いにすることがある。 2. 授業のための準備を欠かさずする。本授業では授業時間外の活動が必須となる。 3. 理解できないことがあれば、授業中、授業外、オフィス等 に自ら進んで教員に質問する。教員側からの働きかけを待つのではなく、主体的に行動すること。 4. レポートの提出期限を厳守する。レポートの提出期限の順守は必須である。正当な理由がない限り、遅延は大幅減点の対象となる。 5. 本授業は全回出席を前提として進める。授業は正当な理由がない限り、欠席、遅刻、早退を繰り返す度に授業態度の評価は落ちていく。欠席、遅刻、早退をした場合は、その理由を必ず書面をもって教員に報告する。また、Zoom によるオンライン授業において、教員から呼びかけられた際には、即時に応答すること。事情の説明なく応答しない学生については、欠席扱いにすることもある。 6. 本授業の教科書を初回の授業までに必ず手元に用意すること。本書がなければ実験実習に参加できない場合があり、受講者にとって大きな不利益となる。 7. 授業内容記載の実験テーマについては授業運営状況に応じて変更する場合があるため目安と捉えてください。詳細については、授業内で説明します。 実験種目および実施順序については教員の判断で内容を変更する場合があり得る。		
13. オフィスアワー	担当者により異なるため別途通知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	ガイダンス：本科目履修に関わる注意事項 心理学実験とは？ 実験方法を理解する。	事前学習	教科書、Word、Excel を準備する。
		事後学習	資料に目を通しておく。
第2回	実験レポートの書き方・構成を学ぶ	事前学習	上に同じ。
		事後学習	改めて授業内容を熟読し理解する。

第 3 回	質的・量的研究	事前学習	質的研究と量的研究の違いを考える
		事後学習	実験で用いられるデータ収集方法をまとめる
第 4 回	質的研究・インタビュー調査レポートの作成	事前学習	インタビュー調査のデータを入力する
		事後学習	仮説生成の意味をまとめる
第 5 回	種目 1 ミュラー・リヤー錯視：実験実施	事前学習	授業資料、教科書を確認し、授業へ持参する。
		事後学習	実験を終わらせ、ローデータを整理する。
第 6 回	種目 1 ミュラー・リヤー錯視：データ処理・分析	事前学習	ローデータを処理可能な状態に準備する。
		事後学習	資料と説明をもとにデータ処理を終わらせる。
第 7 回	種目 1 ミュラー・リヤー錯視：レポートの書き方	事前学習	資料に目を通しておく。
		事後学習	授業時に指摘された注意点を見直す。
第 8 回	種目 1 ミュラー・リヤー錯視：レポートの作成	事前学習	上に同じ。
		事後学習	レポートを完成させる。
第 9 回	種目 2 社会的促進・抑制実験	事前学習	授業資料、教科書を確認し、授業へ持参する。
		事後学習	実験を終わらせ、ローデータを整理する。
第 1 0 回	種目 2 社会的促進・抑制：データ処理・分析	事前学習	ローデータを処理可能な状態に準備する。
		事後学習	資料と説明をもとにデータ処理を終わらせる。
第 1 1 回	種目 2 社会的促進・抑制：レポートの書き方	事前学習	資料に目を通しておく。
		事後学習	授業時に指摘された注意点を見直す。
第 1 2 回	種目 2 社会的促進・抑制：レポートの作成	事前学習	上に同じ。
		事後学習	レポートを完成させる。
第 1 3 回	種目 3 対人相互作用：実験実施	事前学習	授業資料、教科書を確認し、授業へ持参する。
		事後学習	実験を終わらせ、ローデータを整理する。
第 1 4 回	種目 3 対人相互作用：データ処理・分析	事前学習	ローデータを処理可能な状態に準備する。
		事後学習	資料と説明をもとにデータ処理を終わらせる。
第 1 5 回	種目 3 対人相互作用：レポートの書き方	事前学習	資料に目を通しておく。
		事後学習	授業時に指摘された注意点を見直す。
第 1 6 回	種目 3 対人相互作用： レポート作成	事前学習	上に同じ。
		事後学習	レポートを完成させる。
第 1 7 回	種目 4 反応形成：実験実施	事前学習	授業資料、教科書を確認し、授業へ持参する。
		事後学習	実験を終わらせ、ローデータを整理する。
第 1 8 回	種目 4 反応形成：データ処理・分析	事前学習	ローデータを処理可能な状態に準備する。
		事後学習	資料と説明をもとにデータ処理を終わらせる。
第 1 9 回	種目 4 反応形成：レポートの書き方	事前学習	資料に目を通しておく。
		事後学習	授業時に指摘された注意点を見直す。
第 2 0 回	種目 4 反応形成： レポート作成	事前学習	上に同じ。
		事後学習	レポートを完成させる。
第 2 1 回	種目 5 両側性転移：実験実施	事前学習	授業資料、教科書を確認し、授業へ持参する。
		事後学習	実験を終わらせ、ローデータを整理する。
第 2 2 回	種目 5 両側性転移：データ処理・分析	事前学習	ローデータを処理可能な状態に準備する。
		事後学習	資料と説明をもとにデータ処理を終わらせる。
第 2 3 回	種目 5 両側性転移：レポートの書き方	事前学習	資料に目を通しておく。
		事後学習	授業時に指摘された注意点を見直す。
第 2 4 回	種目 5 両側性転移： レポート作成	事前学習	上に同じ。
		事後学習	レポートを完成させる。
第 2 5 回	種目 6 テキストの計量的分析：実験実施	事前学習	授業資料、教科書を確認し、授業へ持参する。
		事後学習	実験を終わらせ、ローデータを整理する。
第 2 6 回	種目 6 テキストの計量的分析：データ処理・分析	事前学習	ローデータを処理可能な状態に準備する。
		事後学習	資料と説明をもとにデータ処理を終わらせる。
第 2 7 回	種目 6 テキストの計量的分析：レポートの書き方	事前学習	資料に目を通しておく。
		事後学習	授業時に指摘された注意点を見直す。
第 2 8 回	種目 6 テキストの計量的分析：レポート作成	事前学習	上に同じ。
		事後学習	レポートを完成させる。
第 2 9 回	学習のまとめ：レポート書式を守ることの意義	事前学習	授業資料、教科書を確認し、持参する。
		事後学習	講義内容の要点をまとめる。
第 3 0 回	学習のまとめ：レポート内容と構成	事前学習	上に同じ。
		事後学習	自分が執筆したレポートの課題点を考える。